

## 取扱説明書

リンレイ  
**SHS<sup>CO</sup> HYGIENIC AUTOMOP**  
ハイジエニックオートモップ



## 目次

目次.....	3
安全に関する一般的注意事項 .....	3
バッテリーを充電する .....	4
本機の使用の際に.....	4
本機を保管する際の注意 .....	6
メンテナンス.....	6
本機の輸送に関する注意 .....	7
本機の廃棄.....	7
この取扱説明書の記号について .....	8
本機に記されたシンボルマークについて .....	8
この取扱説明書の目的と内容 .....	8
この取扱説明書の対象者.....	8
取扱説明書保管のお願い .....	8
本機納品時確認のお願い.....	8
本機のご使用にあたり.....	8
弊社へのご連絡、消耗品等のご発注の際は.....	8
本製品の概要.....	8
本製品の仕様について .....	8
安全は作業者の注意から.....	8
シリアル番号プレート.....	8
交換部品・消耗品.....	9
本機の梱包について.....	9
開梱の仕方.....	9
本機を移動する方法.....	9
バッテリーのタイプ.....	9
バッテリーを充電するときの注意.....	9
使用開始の準備.....	10
洗浄作業の準備.....	10
洗浄作業.....	11
洗浄作業終了後の取扱い.....	11
メンテナンス.....	12
トラブルシューティング.....	13
本機の廃棄 .....	14
EC 適合の宣誓.....	14

## 安全に関する

### 一般的注意事項

下記の記号は潜在的な危険があることを示しています。使用場所の人員、器物を保護するため、この注意事項をよく読み、必要な措置を講じて下さい。事故防止にもっとも重要なのは作業者の協力です。マシンの操作に直接の責任がある作業者の協力がなければ、いかなる事故防止策も有効ではありません。

労働災害の多くは、安全規則の基本を守らないために作業中、移動中に発生します。安全に配慮し注意を怠らない作業者が事故を防止し、事故防止策の基礎となります。



**危険：** 傷害、死亡を生じる危険が差し迫っていることを示します



**警告：** 傷害、死亡を生じる危険な状況の恐れを示します



**注意：** 負傷する恐れのあることを示します



**注意：** 器物を傷つける恐れを示します



**ノート：** 機能・使用法についての記載があることを示します



**取扱説明書：** 使用する前に取扱説明書を読むよう指示しています

## バッテリーを充電する

### 危険:

- バッテリー充電器の電源コードが損傷、破損している場合は危険ですので使用せず、弊社、販売店に連絡して交換して下さい
- バッテリーと電気火花、火気、白熱灯などは安全な距離を取って下さい
- 充電する前に充電ケーブルに損傷がないか点検し、もし損傷があれば使用せず、弊社、販売店に連絡して下さい
- 充電器を使用する前に、ソケット部に損傷がないか確認し、もし損傷があれば使用せず、弊社、販売店に連絡して下さい
- 充電中は、本機から充電コードを外すと火花が飛ぶので外さないで下さい。充電中にケーブルを外す場合は、まずコンセントからプラグを抜いて下さい

### 警告:

- 損傷、または火災の危険があるので、本機付属以外の充電器、バッテリーを使用しないで下さい
- 充電器ケーブルは、表面が熱いものから充分距離を取って下さい
- 充電器の取扱説明書を使用する前によく読んで下さい
- 濡れた手でソケットからケーブルを抜かないで下さい

## 本機の使用の際に

### 危険:

- 異常を感じた場合、本機の主電源を切り、バッテリーコンパートメントからバッテリーを外して下さい
- ガス、爆発物、可燃性の液体、粉体、酸あるいは溶剤を絶対に吸引しないで下さい  
ガソリン、塗料シンナー、燃料・オイルなどはバキュームの空気と混合すると爆発の危険があり、希釈されていない酸、溶剤、アセトン、アルミニウム、マグネシウム粉末などは本機の部品を腐食させる危険があります
- ガソリンスタンドなど危険物を扱う場所で本機を使用するときは、関連する法令規則に照らして使用して下さい（防爆環境で本機を使用することはできません）

### 警告:

- 本機は講習、説明を受けた作業者のみが使用できます
- 本機は、シリアル番号プレートに記載された角度以上の斜面で使用することはできません
- 本機は、表面が荒れた場所、でこぼこした表面の床面で使用することはできません
- 火災の場合、粉末消火剤を使用し、水は掛けないで下さい
- 作業スピードはその場所や周囲の状況に合わせた適切なものにして下さい
- 本機が勝手に使われるのを防ぐためには、電源を切り、バッテリーを

コンパートメントから外して下さい

- 十分な知識なく、また所有者の承諾なしに本機を使用しないで下さい
- この取扱説明書を読んで理解せずに本機を使用しないで下さい
- 薬物、アルコールの影響下で本機を使用しないで下さい
- 携帯電話ほかの電子機器を使用しながら本機を使わないで下さい
- 本機に異常を感じた場合は使用を中止して下さい
- 爆発性の液体の蒸気や粉体の充満している場所で本機を使用しないで下さい
- フロントライトを点灯する場合を除き、暗くて安全に本機を使用できない場所では使わないで下さい



**注意：**

- 本機は、子供、および精神・感覚器の機能に障害を持つ方、および本機を扱った経験、知識のない方は、安全について責任ある方から指導されない限り使用することはできません  
子供が本機で遊ばないように監督して下さい
- 本機で作業中は周囲の状況、とくに子供に注意して下さい
- シリアル番号プレートに記載された電圧でのみ本機は使用できます
- 本機に貼られた注意ステッカーの意味を理解して使用して下さい
- 本機は屋根のある屋内でのみ使用し、保管されるものとします
- 本機は屋外の水が掛かる環境や、雨に濡れる場所で使用することはできません
- 本機は有害な振動を起こしません
- 取扱説明書に記載された方法でのみ使用して下さい
- タバコ、マッチ、残り火など燃えているもの、煙の出ているものを掃き込まないで下さい
- 洗剤の調合、使用、廃棄は洗剤容器の取扱説明に従って下さい



**注意：**

- 作業場所の通行人、器物に常に注意し、囲いを設けるなど適切な安全対策を講じて下さい
- 陳列棚や足場との衝突に注意し、高所からものが落下の危険があるときは充分注意すること
- 本機の上に飲み物などの容器を載せないこと
- 本機は、温度は 0 °C～+40 °Cの環境でのみ使うことができます
- 洗剤を使用する際は、洗剤の容器にある取扱説明をよく読み、理解して使用すること
- 洗剤の原液を扱うときは、手袋、ゴーグルなど保護具をいつも使用して下さい
- 本機を移動させずにブラシを回転させると、床を傷つけることがありますので避けて下さい
- 本機の開口部に異物を巻き込まないようにし、巻き込んだ状態で本機を稼働させてないこと
- 本機の開口部にホコリ、糸くず、髪の毛などの異物を詰まらせないようにして下さい

- 本体に貼られた注意ステッカー等をはがさないこと
- 本機に付属する、または取扱説明書に記載されたブラシのみを使用して下さい  
他のブラシを使用すると、本機と作業員の安全に問題が生じることがあります
- 使用前に水漏れがないか確認して下さい
- 作業の前に、タンクのキャップなどが確実に閉じているか、安全を確認して下さい
- 作業時は、頭髮、宝飾品、緩い衣服等が本機の可動部に巻き込まれないよう注意して下さい
- 明るい場所でのみ本機を使用して下さい



洗浄液タンク、汚水回収タンクに水が入って入るときは、水漏れを防ぐため、  
本機を立て掛けないで下さい

### 本機を保管する際の注意



#### 警告：

- 使用時、保管時を問わず、直射日光、雨などを避け、乾燥した屋内に保管して下さい  
本機は乾燥した場所で使うことを意図しており、屋外の濡れた場所での使用、保管は  
しないで下さい
- 燃えやすい粉体、液体、ガスの側に本機を保管しないで下さい
- 平らなフロアで保管して下さい
- メインスイッチを切り、バッテリーコンパートメントからバッテリーを外して下さい
- 本機を保管する際は、誤って動かないように保管して下さい



#### 注意：

- 本機を勝手に動かされないよう、メインスイッチを切り、バッテリーをコンパートメントから外して下さい



#### 注意：

- 本機は、温度は 0 °C～+40 °C、湿度は30%～95%の環境でのみ使うことができます

### メンテナンス



#### 危険：

- 本機で作業をする際に通電している箇所からの感電・漏電の危険を避けるため、絶縁なしの工具を  
使用しない、本機に金属でできたものを落としたり置いたりしない、指輪、時計を外す、金属パーツ  
のある衣服などを着用しない、などの注意を行ってください

**⚠ 警告:**

- 作業、メンテナンス、修理の前に取扱説明書の該当箇所の指示をよく読んで下さい
- 本機が正しく動かない場合は、日常メンテナンスが行われていないことが原因か確認し、そうでない場合は弊社か販売代理店に連絡して下さい
- メンテナンス終了後にバッテリーを接続し直して下さい

**⚠ 注意:**

- いかなるメンテナンスも、メインスイッチを切り、バッテリーをコンパートメントから外して行うこと
- 稼働するパーツに巻き込まれないよう、緩い服装や装飾品を避け、髪の毛はまとめること

**⚠ 注意:**

- いかなる理由でも本機の保護機構を改造せず、指示されたメンテナンス項目を厳守すること
- 本機の使用中に通常と違う感覚があった場合、日常メンテナンスが行われていないことが原因か確認し、そうでない場合は弊社か販売代理店に連絡して下さい
- 本機の構成部品、消耗品を交換する際は、必ず弊社または販売代理店が供給する正規部品を使用して下さい
- 本機を正しく安全に使用するために、この取扱説明書に記載されたメンテナンスを実行して下さい
- 本機を高圧洗浄機、または腐食の可能性のある溶剤等で洗わないで下さい
- 弊社、販売代理店のサービスマンにより1年に一回点検を受けると安定して使用できます
- 消耗品、部材を廃棄する際は、その地域の法令諸規則に従って処分して下さい  
本機を処分する際、部材はリサイクル可能なもので構成されているので適正に行って下さい
- 修理はすべて弊社または販売代理店のサービスマンに行わせて下さい
- 本機の改造・改変はしないこと

## 本機の輸送に関する注意

**⚠ 警告 :**

- 輸送の前に洗浄水タンク、汚水回収タンクとも必ず排水すること
- スクイジを待機ポジションにすること
- バッテリーコンパートメントからバッテリーを外すこと

## 本機の廃棄

**⚠ 注意 :**

- リチウムイオンバッテリーなどリサイクル可能なもの、有害なものを含みますので、本機の使用を終わるときは、その地域の法令・諸規則に従って産業廃棄物として適正に処分して下さい

この取扱説明書の記載は弊社がその部分、詳細を随時変更することができ、製品の改修、製造、販売の都合のためにアクセサリも含み変更を行うことがあります。この取扱説明書の文面、イラストは、部分的であっても複製を禁じられています。

弊社は技術的/供給上の都合により、いかなる変更を行うこともできるものとします。イラストは概念図であらずも実際の製品や設計と合致しないことがあります。

### この取扱説明書の記号について

- 開いた本の記号で "I" がある: 取扱説明書を参照すること
開いた本の記号: 本機を操作する前に取扱説明書を読むこと
覆われたスペースの記号: この作業は屋内の乾燥した場所で行うこと
警告の記号: 作業者と本機の安全のために、この記号のある事項は慎重に読み、指示に従うこと
保護手袋の記号: 手指の保護のために保護手袋を着用すること
工具の記号: 本機に付属していない工具が必要なこと
爆発の危険ありの記号: バッテリーは取扱説明書にある指示に従わない場合、ある条件下で爆発の危険があること
廃棄時の注意の記号: 本機の廃棄時に注意すべき事項
リサイクルの記号: その地域の環境に関する法令・規則に沿って廃棄物として処分することを作業者に求める記号
タンク排水の記号: 作業中に給水のために汚水回収タンクを空にする必要があることを示す記号
洗浄液タンク給水の記号: 洗浄液タンクに給水するにあつたての注意事項の記号

### 本機に記されたシンボルマークについて

- メインスイッチのシンボル: 本機の後でメインスイッチをします
リレイドノブ/ストップスイッチのシンボル: 本機の後ろろにあり、洗浄液を出すリレイドノブ/ストップのスイッチを示します
スクイジー作業時の位置のシンボル: スクイジーコントロールノブの回転方向を示し、スクイジーゴムが床に接触していることを示す
スクイジー保持位置のシンボル: スクイジーコントロールノブの回転方向を示し、スクイジーゴムが床から離れていることを示す
持ち上げるポイントのシンボル: 本機を持ち上げる際に手の位置、また可動部品の動きを示すシンボル
"OPEN" のシンボル: 本機の上にあるフロントカバーを開ける位置を示すシンボル
警告シンボル: タンクに水が入った状態で本機を立てないこと
洗浄液タンク、汚水回収タンクに水が入った状態で本機を立てないことのシンボル

### この取扱説明書の目的と内容

この取扱説明書の目的は顧客に本機を安全、適切かつ自律的に使用してもらうために必要な情報を提供することです。その内容には技術的、安全に関する事項、不具合時、メンテナンス、スペアパーツや消耗品、処分に関するものがあり、本機を使用する前によく読んで理解する必要があります。本取扱説明書の正しい理解に疑問がある場合は、弊社が販売代理店に連絡をお願いします。

### この取扱説明書の対象者

この取扱説明書は、作業の方と講習を受けたサービス担当者を対象としています。作業の方には、サービス担当者の行う作業は行わないで下さい。これに従わない場合に発生した損害については弊社は責任を負いません。

### 取扱説明書/保管のお願い

取扱説明書は、汚れや水濡れからまめるケースに入れ、本機の側に保管して下さい。紛失、読めなくなった場合は、弊社に連絡下さい。

### 本機および付属品等の取扱いのお願い

本機がお客様に届いた際に、送り状に記載されているすべてのアイテムが揃っているか確認して下さい。また、本機が輸送の途中で損傷を受けていないか確認して下さい。万一損傷が見つかった場合は、配送業者または大切に運搬の状況を確認していただき、弊社にも連絡頂きたい。お早目の連絡により、不足しているパーツの手配、損傷の補償が速やかに行われますのでよろしくお願い致します。

### 本機のご使用にあたり

本機は、取扱説明書の指示に沿った正しい使い方をし、メンテナンスも適切に行うことではじめて適切に稼働します。この取扱説明書をよく読み、また本機使用中に何か問題が生じた際にも読んで下さい。ご不審な点、ご質問はいつでも弊社、または販売店にお寄せ下さい。

### 壁栓へのご接続、消耗品等の取扱いの際は

弊社、販売店にて接続の際、また消耗品のご取扱いの際は、機種名、シリアル番号(本機内部のプレートに記載)伝えて頂(化)手配がスムーズです。

### 本製品の概要

本機は、シングルブラシの機械的な機構と、洗浄液の作用により、幅広い床素材、および汚れを洗浄できる床洗浄機です。前進時に床に残った汚水と汚れを回収します。本機はこの目的のために使用して下さい。

### 本製品の仕様にについて

本機は商業施設、住居、倉庫などで、使用方法の説明を受け、取扱説明書を読んで理解した作業者が、安全に配慮しながら、平滑なハードフロアの洗浄および乾燥作業を行うために設計・製造されました。本機は、カーペット、ラグの洗浄には使えません。屋根のある屋内環境での使用しかできません。

- 警告: 雨の出る場所、水しぶきや洗浄液のある場所では使用できません
本機で危険な粉塵、可燃物の液体を回収すること、防爆環境での使用は禁止です。人員や物の運搬に使用しないで下さい。

### 安全は作業者の注意から

事故防止に最も重要なのは作業者の協力です。マシンの操作に直接的責任がある作業者の協力がいなければ、いかなる事故防止策も有効ではありません。労働災害の多くは、安全規則の基本を守らないために作業中、移動中に発生します。安全に配慮し注意を怠らない作業者が事故を防止し、事故防止策の基礎となります。

### シリアル番号プレート

シリアル番号プレートは、本機後部のバッテリーコンパートメントの内部にあり、本機の基本仕様、シリアル番号が記載されています。サービス依頼時などにシリアル番号を連絡すると円滑にサービスが進みます。

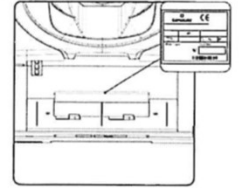
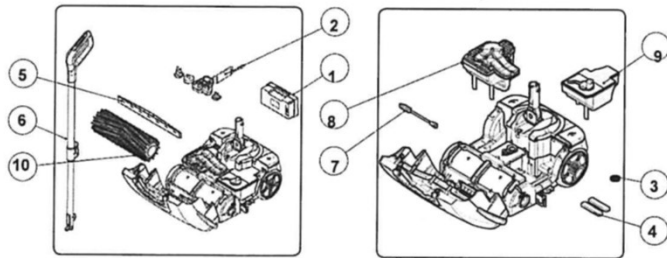


Table with 3 columns: 本機のおもな仕様, 単位, AutoMop. It lists various specifications such as total output, cleaning width, cleaning capacity, and battery specifications.

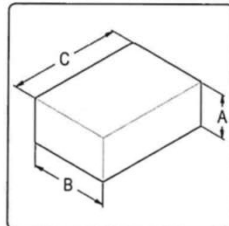
### 交換部品・消耗品



品番	数量	品目	
1	440974	1	バッテリー
2	441033	1	充電器
3	439888	1	洗浄液フィルター
4	441025	2	アンチダストフィルター
5	224800	1	スクイジーローレット
6	224615	1	コントロールハンドルバー
7	441023	1	グリーンングブラッシュアップ
8	227332	1	汚水回収タンク
9	224619	1	洗浄液タンク
10	440905	1	ソフトブラシ
	440904	1	ハードブラシ

### 本機の梱包について

本機は専用の梱包で納品されます。プラスチック袋、クッションなど梱包資材は子供、障害のある方にとって危険な場合がありますので、手の届くところに置かないで下さい。梱包の総重量は18kg、寸法は下記の通りです。



	単位	
A	mm	270
B	mm	487
C	mm	698

### 開梱の仕方

開梱作業は以下のように行ってください：

1. 段ボール箱を平らな床面に置く

**注意：**箱のピクトグラム（緑文字）を参照下さい

2. 外箱を開ける
3. アクセサリー類を取り出し、静かに床に置く
4. 本体を取り出す

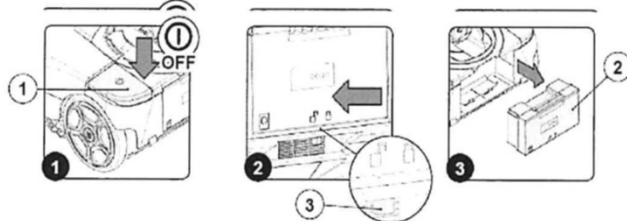
**注意：**発送する場合に備えて段ボール箱を保管しておいて下さい

**注意：**開梱作業は段ボールやステープルなどの金属から守るため手袋をして行って下さい

### 本機を移動する方法

本機を安全に移動させる方法は次の通りです：

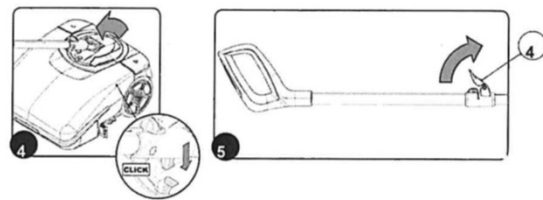
1. 本機が作動しているときは、メインスイッチを切ってください（図1①）
2. 汚水回収タンクが空なことを確認して下さい（水が入っているれば排水して下さい）
3. 洗浄液タンクが空なことを確認して下さい（水が入っているれば排水して下さい）
4. 本機後ろ下面のストップレバー①を矢印方向スライドさせ、バッテリーコンパートメントからバッテリー②を引き出します



5. ハンドルバーを床に並行になるまで前に倒して固定して下さい（図4）

**注意：**足がメインスイッチに当たらないようにして下さい

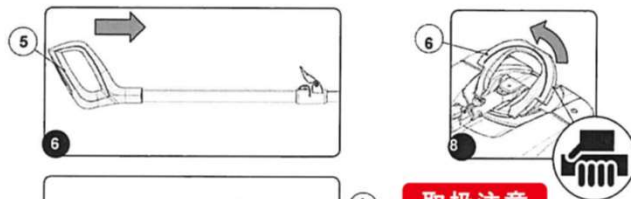
6. コマンドハンドルバーのストップレバー③を矢印の方向に開放する（図5）
7. コマンドハンドルバーをボディの方に押し込む（図6）



8. コマンドハンドルバーのストップレバー③を締めて固定する（図7）
9. 本機を持ち上げるには、ボディの丸いハンドルを持つ（図8④）

**注意：**本機を自動車で運ぶ際は、移動や損傷を防ぐため、しっかりと固定して下さい。

**注意：**手を挟むことがあるので、手袋の着用が推奨されます



### 取扱注意

本体を倒立する際は、清水タンクと汚水タンクを必ず空にすること  
故障の原因になります

**注意：**洗浄液タンク、汚水回収タンクに水が入っている場合、水漏れの恐れがあるので本機を立て掛けないで下さい

### バッテリーのタイプ

本機は付属のバッテリー、または弊社、販売店から供給するバッテリーのみを使用して下さい。これ以外のバッテリーは使用しないで下さい。本機はリチウムイオンバッテリーで駆動します。バッテリーコンパートメントには 25.5V/バッテリー1個が収納されます。

**警告：**バッテリーの保守、廃棄についてはバッテリー取扱説明書をよく読んで下さい

### バッテリーを充電するときの注意

初めて本機を使用する前にバッテリーは充電して下さい。本機の能力が落ちてきたと感じたときには充電を行って下さい。充電の方法は下記の通りです。

1. 本機を充電する場所に移す

**警告：**充電する場所は換気を確保して下さい

2. 本機が静置しているらメインスイッチを切ってください（図1①）

3. ハンドルを垂直位置を立てて固定します

**注意：**本機に足を掛けないこと

4. 電源プラグ④をパワーバック（図2④）に接続する前に、充電器の説明書をよく読みむこと



**注意：**バッテリー充電器をコンセントに挿す前に、電源が仕様（100V/50/60Hz）と合っているか確認すること

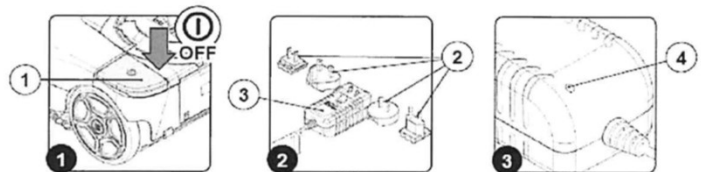


**警告：**充電器は屋内でのみ使用して下さい

5. コンセントに電源プラグ④を差し込む



**警告：**バッテリー充電器のLED④が点灯しているか確認して下さい（図3）これにより充電器の回路に通電しているか分かります



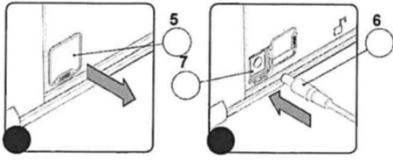
6. 本機後ろのバッテリーソケットのカバー⑤を外す（図4）
7. バッテリー電源ケーブルのプラグ⑥をソケット⑦に差し込む（図5）



**警告：**バッテリー充電器のLED④が点灯しているか確認して下さい（図3）これにより、充電器の回路に通電しているか分かります

**警告：**プラグ⑥をソケット⑦に差し込む前に、バッテリーコンパートメントにゴミやホコリの堆積、水漏れがないか確認して下さい





- 注意:** プラグ⑥をソケット⑦に差し込んだとき、赤いLED④が点灯するか確認して下さい。これによりバッテリーが充電中か分かります
8. 完全に充電されるまでそのままにします
- 注意:** バッテリーが完全に充電されるまで赤いLED④が点灯し、充電後に赤いLEDが消え、緑のLEDが点灯します
- 注意:** 充電器、バッテリーは電源に接続したままにでき、補充電を行う際は赤いLED④が点灯します
- 注意:** 赤いLED④の点灯は、バッテリーの充電レベルとは関係ありません
- 注意:** 充電中、バッテリーは熱くなる場合がありますが、通常のことであり異常が生じているわけではありません
- 注意:** バッテリーが過充電になると、火災、爆発、化学やけどの危険があります
9. 充電サイクルが完了したら、コンセントからプラグ⑥を抜きます

- 注意:** 電源ケーブル、プラグの損傷を防ぐため、コンセントの抜き差しはケーブルでなく必ずプラグを持って行って下さい
10. バッテリーのソケット⑦から電源コードプラグ⑥を抜いて下さい
11. バッテリーパワーソケットのキャップ⑧をはめる

### 使用開始の準備

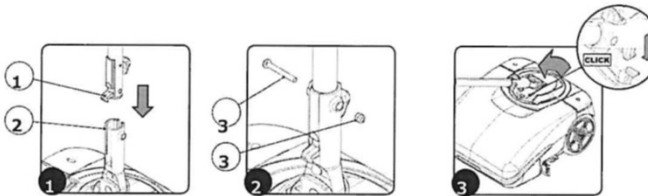
- 段ボールの梱包ごと開梱する場所に運ぶ
- 開梱し、本体とすべてのアクセサリ類を取り出す
- ハンドルバーの下の部分を本体のジョイントに差し込む(図1②)。
- ハンドルバーをネジとナットを+ドライバーで固定する③ジョイントの穴とハンドルバーの穴の両方を通すと(図2)

**注意:** ドライバーは同梱されていません

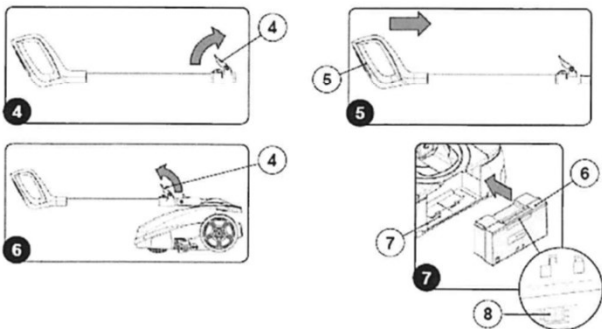
5. ハンドルバーを水平にし、前に倒して固定する(図3)

**注意:** 足でメインスイッチに触れないように

- ハンドルバーのストップレバー④を開放する(図4)
- ハンドルバーをボディの方に寝かせる(図5)



- ハンドルバーのストップレバー④を締めて固定する(図6)。
- バッテリー⑥を本機後ろのバッテリーコンパートメント⑦に挿入する(図7) アンカップリングレバー⑧がカチッと固定されるまで押し込む



### 洗浄作業の準備

洗浄作業を始める前に下記の準備をして下さい:

**注意:** 初めて使用する前にバッテリーをフル充電して下さい(「バッテリーを充電する」の項参照)

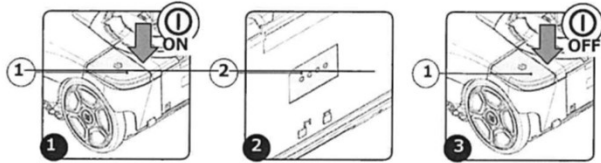
- 本機を使用する前に、損傷のあるなしを確認し、万一不具合のある場合は使用をやめて下さい
- ハンドルバーを垂直にする

**注意:** ハンドルバーを立てるときに、本機に足を掛けしないで下さい

3. メインスイッチ①を押して本機の電源を入れます(図1)

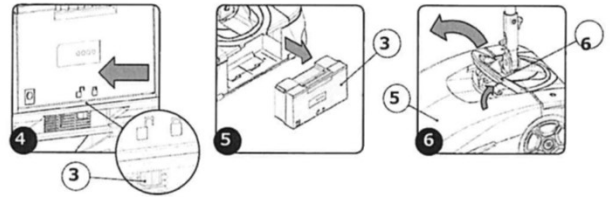
**注意:** メインスイッチのLED(図1①)が点灯すると通電していることを示します

- バッテリーに4つあるLED(図2②)で充電レベルを確認し、LEDが4つ点灯していない場合はフル充電をし、4つ全部消え入れれば完全に充電していることを示します
- メインスイッチを切ります(図3)



- ストップレバー④をスライドし、バッテリーをコンパートメントから取り出す(図4)
- バッテリーをコンパートメントから引き出して外す(図5)
- スライダレバーに切れや摩耗がないか状態を確認し、すり減った汚水が回収できないなら交換します(「メンテナンス」の項参照)
- ブラシが減っていないか確認し、毛の長さが10mm以下の場合は交換します(「メンテナンス」の項参照)
- フロントカバー(図5⑥)を前方に持ち上げる。丸いハンドル⑥を持つとよい

**注意:** 手を保護するために手袋の着用を推奨します



- 本機前方の洗浄液タンクを外す(図7)
- 洗浄液タンクのキャップを外す(図8⑦)
- 水道水を入れる(水温は10℃以上50℃以下)
- 液体の洗剤を使用量に従った希釈率で入れる

**注意:** 洗剤の泡が多く立つと、バキュームモーターが吸い込んで損傷するので、洗剤の量は必要最小限に限ること

**注意:** 必ず低発泡性の洗浄機用の洗剤を使用して下さい  
pHが4~10の範囲を超える酸やアルカリ洗剤、また溶剤は使用しないで下さい  
漂白剤、塩素、酸素、ホルムアルデヒド、鉱物性溶剤は使用しないで下さい

**注意:** アルカリ、酸、洗剤を扱う際は手指の保護のため手袋を装着して下さい

**注意:** 低発泡性の洗剤を使用し、必要なら少量の消泡剤を汚水回収タンクに作業前に入れること(酸は使用不可)

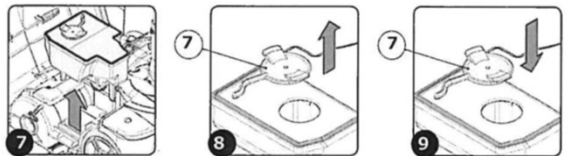
15. 洗浄液タンクのキャップ⑦を閉める(図9)

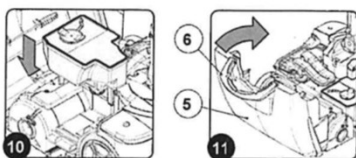
**注意:** 洗浄液タンクに給水するたびに汚水回収タンクを空にする習慣を付けて下さい

16. 本機に洗浄液タンクを戻す(図10)。

17. フロントカバーを戻す(図11)。

18. バッテリーをコンパートメントに戻す





## 洗浄作業

洗浄作業の前の準備は下記のとおりです：

1. 前章の清掃作業の準備を行う。
  2. スクイジーボディが洗浄する床に設置しているか確認すること。もし設置していなければ(図1④)のノブを矢印の方向に回して下さること
- ① ノート：(図1)は後ろから見て本機の右側を示しており、ノブは右手で調整することになります
3. ハンドルバーを垂直位置から作業しやすい角度に倒す

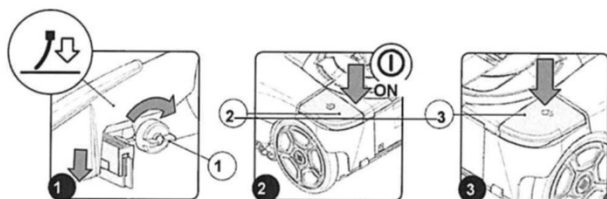
⚠ 注意：ハンドルバーを操作するときは本機に足を掛けしないで下さい

4. ハンドルバーの高さを調整し固定する
5. メインスイッチで本機をスタートさせる(図2②)

- ① ノート：(図2②)メインスイッチのLEDが点灯したら通電されていることを示します
- ① ノート：本機を起動させるとフロント部のLEDが点灯し、ブラシモーターと吸引モーターが作動します

6. (図3③)本機右側の洗浄液ポンプのスイッチを押すと洗浄液が吐出されます

- ① ノート：(図3③)のポンプコントロールスイッチのLEDが点灯したら、洗浄液を吐出していることを示します



7. これで本機は稼働し、バッテリーがなくなるか、洗浄液が終わるまで洗浄することができます

- ① ノート：本機のジョイントにより、ハンドルを右に回せば右に、左に回せば左に、本体を自由に動かして洗浄作業ができます(図4)

- ① ノート：後ろ向きに洗浄したい場合は、本体を180°回して後ろに下がって下さい

- ① ノート：ハンドルバーを垂直にしたときは、ブラシモーターと洗浄液ポンプが停止し、数秒後に吸引モーターも止まります

- ① ノート：使用中にバッテリー充電レベルが一定の水準になると、ブラシモーターと洗浄液ポンプが停止し、数秒後に吸引モーターも停止しますが、メインスイッチとポンプのLEDは点灯したままです



## 洗浄作業終了後の取扱い

洗浄作業を終えるときは、日常のメンテナンスの前に以下のことを行って下さい：

1. (図1④)メインスイッチを切る
2. ハンドルバーを垂直に立てる

⚠ 注意：ハンドルバーを立てる際、脚を本機に掛けしないで下さい

3. (図2②)スクイジーボディを床から上げ、本体のノブを矢印(反時計回り)方法に回す

- ① 注意：(図2)スクイジーボディを上下するノブは、本体両側にあります

4. 本機を適切に排水できる場所まで移動して下さい

♻ 注意：汚水の処分はその場所の法令・諸規則で認められている方法で行って下さい

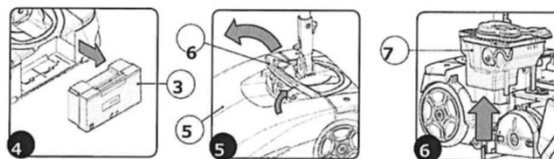
5. (図3④)ストップレバーを矢印方向にスライドさせ、バッテリー/バッテリーコンパートメントを外します



6. (図4)バッテリーのくぼみに指を掛け、スライドを矢印方法にずらして引き出します
7. (図5⑤)丸いハンドルを持ってフロントカバーを前に開けます

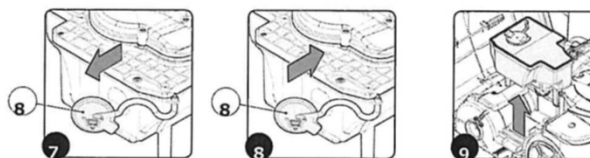
⚠ 注意：エッジ部金属部品から手指を傷めるため手袋の着用を推奨します

8. (図6⑦)汚水回収タンクを本体から外す
9. (図7⑧)排水プラグをタンクから外す



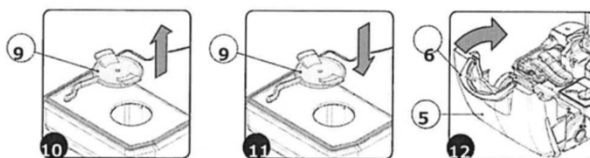
⚠ 注意：アルカリ、酸性を問わず、洗剤を扱う際は保護手袋をして手指を保護して下さい

10. 汚水回収タンクを排水し、中を水道水で洗い流す
11. (図8⑩)排水プラグを閉める
12. (図9)洗浄液タンクを本体から外す
13. (図10⑪)洗浄液タンクのキャップを外す

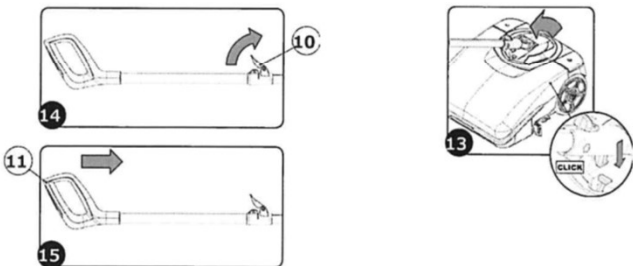


14. 洗浄液の残りを排水する
15. 水道水でタンクの中を洗い流す
16. キャップを閉める(図11)
17. 洗浄液タンクを先に本体に戻し、次いで汚水回収タンクを戻す
18. ハンドル(図12⑬)を持ってフロントカバーを戻す
19. (図13)ハンドルバーを垂直位置にする

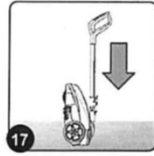
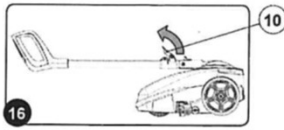
⚠ 注意：ハンドルバーを立てる際、脚を本機に掛けしないで下さい



20. (図14)ハンドルバーのストップレバーを(図14)の矢印の方向に倒して開放する
21. (図15⑭)コマンドハンドルバーを押し下げてレバーを閉める
22. (図16)コマンドハンドルバーのレバーを矢印の方に倒して締める
23. 本機を保管場所に移動する
24. (図17)本機の後部を床に立てて保管する



⚠ 警告：本機は屋内の平らな場所で保管し、周囲に本機を傷つけるもの、また本機が損傷を与えないように注意して下さい



## メンテナンス

本機を使用後、毎回の操作をして下さい：

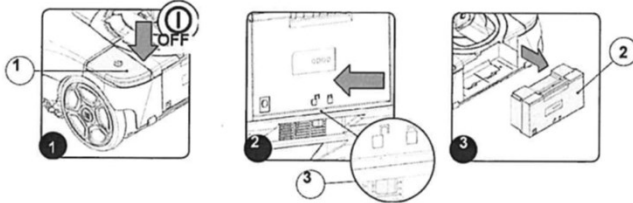
1. (図14) メインスイッチを切る
2. ハンドルバーを垂直位置に立てる

⚠ 注意：ハンドルバーを立てる際、本機に足を掛けしないで下さい

3. 本機をメンテナンスのできる場所に移動する

🗑 ノート：メンテナンスは、諸規則や建物のルール上問題のない場所で行って下さい

4. (図20) バッテリーをストップレバー①を矢印方向にずらして引き出し、バッテリーコンパートメントから外します

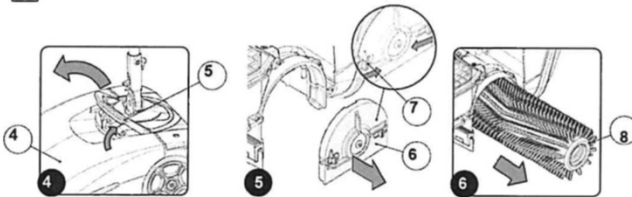


5. (図3) バッテリーをコンパートメントから外す
6. (図4④) 丸いハンドル⑤を持ってフロントカバーを開ける

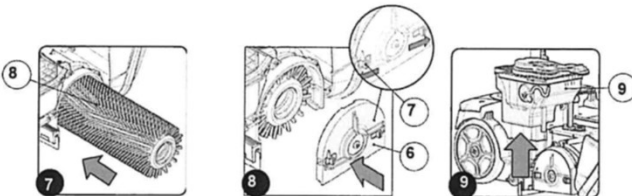
⚠ 注意：エッジ部、金属部品から手指を傷めるため、保護グローブの着用を推奨します

7. (図5) レバー⑥を矢印方向（内側）にスライドさせてトンネルカバー⑦を外す
8. (図6) ブラシ⑧を取り出す

⚠ 注意：この操作の間、コントロールハンドルバーを、本機が動かないよう固定しておいて下さい



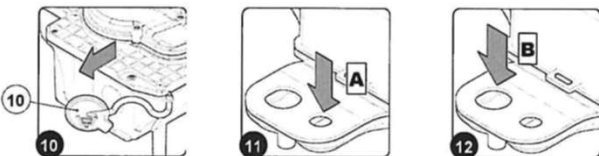
9. 外したブラシを流水で洗い、毛の中の泥、汚れ、繊維、髪の毛を取り出す  
ブラシの毛の消耗度合いを確認し、10mm以下になつていたら交換して下さい
10. (図7⑧) 洗浄したブラシを本体に戻す際は、ブラシモーターのピンに合わせて差し込みます（ブラシは一方のみ差し込みます）
11. (図8) トンネルカバー⑦を戻し、ストップレバー⑥を外側にスライドさせて固定する
12. (図9) 汚水回収タンク⑨を本体から外す



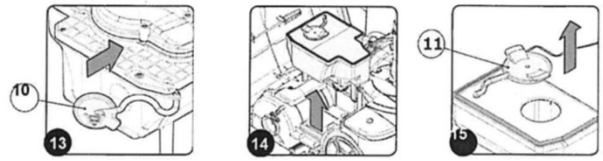
13. (図10⑩) 汚水回収タンクの排水プラグを外す

🗑 注意：アルカリ、酸、洗剤を扱う際は手を保護するために手袋を装着して下さい

14. 吸引バキュームのエアチャネルチャンバー（図11A）を清掃して下さい（エアブローがあれば使用して下さい）
15. 汚水チャンバーのインレット（図12B）を清掃して下さい（エアブローがあれば使用して下さい）



16. 流水で汚水回収タンクの中を洗って下さい。曲がっている場所はゴミが詰まりやすいので取除いて下さい
17. 排水キャップを閉めます（図13⑬）
18. (図14) 洗浄液タンクを本体から外す
19. (図15⑭) 洗浄液タンクのキャップを外す
20. 水道水でタンクの中を洗う

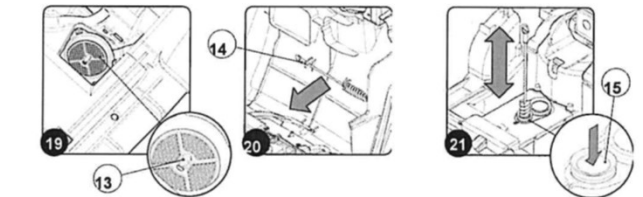


21. (図16⑯) キャップを閉める
22. (図17⑰) フィルターカード⑱を外し、水道水で汚れ、詰まりを洗い流す。破れがあれば交換する
23. (図18) フィルターカード⑱を本体に戻す

⚠ 注意：(図19) フィルターカード⑱を戻す際、フィルター中央のバルブアクチベーションピン⑲が上にあるように置く

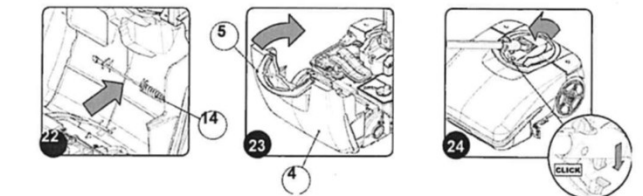


24. 洗浄液タンクを先に本体に戻し、のびに汚水回収タンクを戻す
25. (図20⑳) バキュームダクトクリップ⑳をサポートから外す
26. (図21) ブラシ⑳でバキュームダクト㉑を清掃する
27. (図22) ブラシ㉑をサポートに戻す
28. (図23) 丸いハンドル⑲を持ってフロントカバー⑥を閉める
29. (図24) ハンドルバーを垂直位置にする

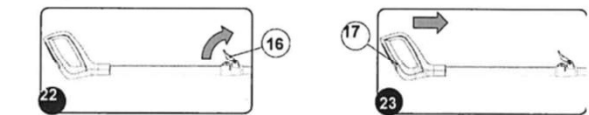


⚠ 注意：ハンドルバーを立てる際、本機に足を掛けしないで下さい

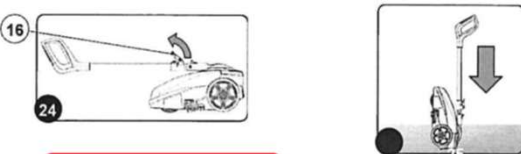
30. (図22) コマンドハンドルバーのストップレバーを矢印の方向に開放する
31. (図23) コマンドハンドルバーを握める



32. (図24) コマンドハンドルバー⑲のレバーを握めて固定する
33. (図25) 本機の後ろを床に立てた状態で保管する
34. (図26) スイッチャーボディー作業時のように出ていることを確認し、出していない場合、ノブ⑲を矢印の方向に回して出す



⚠ 注意：(図26) スイッチャー高さ調節ノブは本体両側にある



## 取扱注意

本体を倒立する際は、  
清水タンクと汚水タンクを必ず空にすること  
故障の原因になります

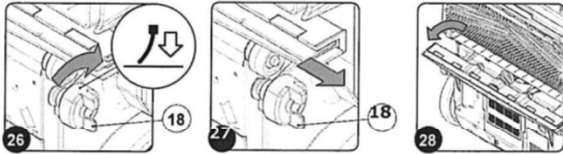
35. スワイジーカップリングをメンテナンス位置にし、ノブ⑧を外側に動かします (図27)  
スワイジーカップリングを手前側に回します (図28)

注意: 左右両側のノブに行ってください

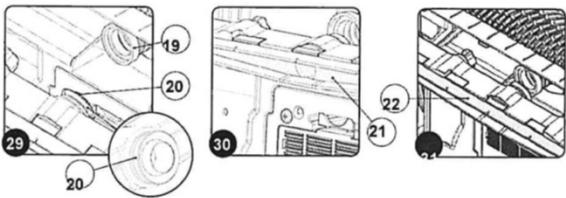
36. (図29) バキュームノズルダクトの清掃にはウェスを使用して下さい

注意: (図29) バキュームノズルの上のシールをなしたり、損傷したりしないようにして下さい

37. (図30) スワイジーのバキュームチャンバーの清掃にはウェスを使用して下さい

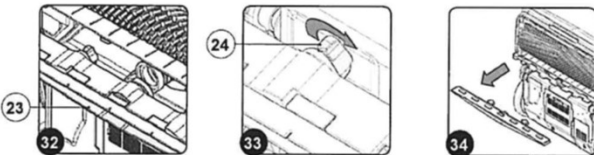


38. (図31) スワイジーのフロントラバーの清掃にはウェスを使用して下さい  
スワイジーボディのフロントラバーの摩耗、切れなどがないか確認し、摩耗していたら交換して下さい
39. (図32) スワイジーの清掃にはウェスを使用して下さい  
スワイジーボディのリヤラバーの摩耗、切れなどがないか確認し、摩耗していたら交換して下さい



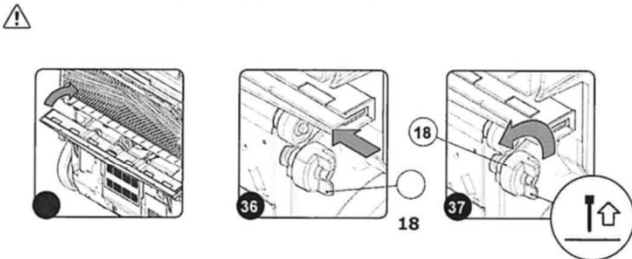
スワイジーラバーのメンテナンスを行うことで、汚水の回収が適正に行えます  
スワイジーラバーの交換は下記の要領で行って下さい:

- (図33) スワイジーボディのネジを矢印方向に90°回す
- (図34) スワイジーコネクタのスロットからスワイジーボディを外す (バキュームノズルのシールをなさないように注意)
- 損傷/摩耗したラバーを交換する
- 反対の順序で外したパーツを取付ける



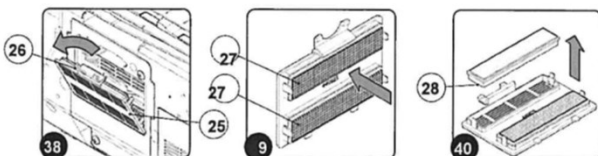
40. (図35) スワイジーカップリングを待機位置にし、スワイジーボディを本機の方に動かす  
41. スワイジーを待機位置で固定し、ノブ⑧を本機側に押す (図36) 矢印方向 (図37) に押し込む

注意: (図37) は本機左側を表すので、右側のノブは反対側に回すこと

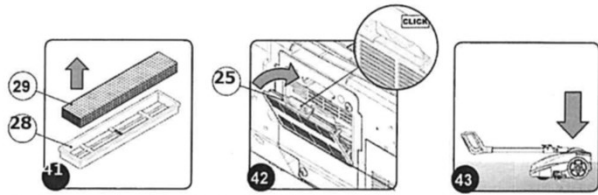


42. (図38) 排気エアフィルターサポートを本体から外し、矢印の方向へタブ⑨を開ける  
43. (図39) 蛇口から20cm以上離して水道の水でフィルターカードリッジを清掃する

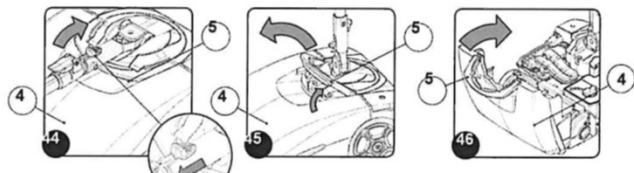
排気エアフィルターを適正に清掃することで、吸引モーターの寿命を長くすることができます  
フィルターカードリッジの交換方法が以下の通りです:



- (図40) フィルターサポート⑨からフィルターカードリッジを外す
- (図41) 古いフィルター⑨を外し、新しいフィルターカードリッジに交換する
- 反対の順序で取付ける

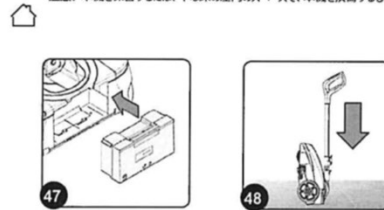


44. (図42) エアフィルターサポート⑨を本体に取付ける  
45. (図43) 本機を使用するときの向きにする  
46. (図44) ラッチ⑩を開放し、ハンドルバーを垂直にする  
47. (図45) フロントカバーをハンドル⑪を使って前方に開く  
48. ふたつのタンクと洗浄液フィルターカードリッジを本体に取付ける  
洗浄液タンクを先に、汚水回収タンクを後でセットする



49. (図46) 丸いハンドル⑫を握ってフロントカバー④を開ける  
50. (図47) バッテリーコネクタ⑬を挿入する  
51. (図48) 本機の後部を床に付けて立てる

注意: 本機を保管するには、平な床の屋内のスペースで、本機を損傷するもの、本機を損傷させる恐れのあるものから離して下さい



### トラブルシューティング

この章は、よくあるトラブルをまとめてあり、この指示に従ってもトラブルが解消しないときは弊社、または販売店にご連絡下さい

トラブルの症状	考えられる原因	対応方法
本機が稼働しない	メインスイッチがONになっていない	メインスイッチをONにする
	バッテリーが本体に正しく挿入されていない	本体にバッテリーを正しく挿入すること
	バッテリー充電レベルを後部のLEDで確認すること	充電が足りないようならフル充電を行うこと
バッテリーが正しく充電されない	充電ケーブルのプラグが充電器に正しく接続されていない	充電器の電源ケーブルが充電器に正しく接続されているか確認すること
	充電ケーブルのプラグがコンセントに正しく接続されていない	プラグがコンセントに正しく差し込まれているか確認
	電源の電圧が充電器の仕様と合っていない	充電器のプレートに表示されている電源仕様と同じか確認
	充電器のLEDが点滅している	充電器の取扱説明書で、充電中に点滅する意味を確認
稼働するが清掃能力が低い	バッテリーの充電レベル、コントロールディスプレイの表示を確認	バッテリーの充電が足りない場合はフル充電を行う

### トラブルシューティング

この章は、よくあるトラブルをまとめており、この指示に従ってトラブルが解消しない場合は弊社、または販売店にご連絡下さい。

トラブルの症状	考えられる原因	対応方法
本機が稼働しない	メインスイッチがONになっていない	メインスイッチをONにする
	バッテリーが本体に正しく挿入されていない	本体にバッテリーを正しく挿入すること
	バッテリー充電レベルを後部のLEDで確認すること	充電が足りないようならフル充電を行うこと
バッテリーが正しく充電されない	充電ケーブルのプラグが充電器に正しく接続されていない	充電器の充電ケーブルが充電器に正しく接続されているか確認すること
	充電ケーブルのプラグがコンセントに正しく接続されていない	プラグがコンセントに正しく差し込まれているか確認
	電源の電圧が充電器の仕様と合っていない	充電器のプレートに表示されている電源仕様と同じか確認
	充電器のLEDが点滅している	充電器の取扱説明書で、充電中に点灯する意味を確認
稼働するが清掃能力が低い	バッテリーの充電レベル、コントロールディスプレイの表示を確認	バッテリーの充電が足りない場合はフル充電を行う

### 本機の廃棄

本機を廃棄する際は、産業廃棄物としてその地域の諸規則に沿って適正に処分して下さい。



### EC適合の宣言

The undersigned manufacturer:

COMAC S. p.A.  
Via Maestri del Lavoro n.13  
37059 Santa Maria di Zevio (VR)

declares under its sole responsibility that the products

SCRUBBING MACHINE mod. IGEA

comply with the requirements of the following Directives:

- 2006/42/EC: Machinery Directive.
- 2014/35/EU: Low Voltage Directive.
- 2014/30/EU: Electromagnetic compatibility directive.

They also comply with the following standards:

- EN 60335-1:2012/A11:2014
- EN60335-2-72:2012
- EN12100:2010
- EN60335-2-29:2004/A2:2010
- EN61000-6-2:2005/AC:2005
- EN61000-6-3:2007/A1:2011/AC:2012
- EN61000-3-2:2014
- EN61000-3-3:2013
- EN55014-1:2006/A1:2009/A2:2011
- EN55014-2:2015
- EN6233:2008/AC:2008

The person authorized to compile the technical file:

Mr. Giancarlo Ruffo  
Via Invalidi del Lavoro, 1  
37059 Santa Maria di Zevio (VR) - ITALY

Santa Maria di Zevio, 25/03/2019

COMAC S. p.A.  
Legal representative  
Giancarlo

Manufacturer:  
FIMAP S.p.A.  
Via Invalidi del Lavoro, 1  
Post code/zip 37059 - S. Maria di Zevio (VR) - Verona - Italy  
Tel. +39 045 6060411 - Fax. +39 045 6060417  
E-mail: [fimap@fimap.com](mailto:fimap@fimap.com)  
Web: [www.fimap.com](http://www.fimap.com)

Agent:  
Comac S.p.A.  
Via Maestri del Lavoro, 13  
Post code/zip 37059 - S. Maria di Zevio (VR) - Verona - Italy Tel.  
+39 045 8774222 - Fax +39 045 8750303  
E-mail: [com@comac.it](mailto:com@comac.it)  
Web: [www.comac.it](http://www.comac.it)